

安田 結子氏

ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・ジャパン・インク
マネージング・ディレクター／日本代表

#124



をおよぼす大惨事となった。猛暑に向かう中、被災地および、関係者の方々の不安な状況は心痛むばかりである。

弊社ラッセル・レイノルズは、全世界に事務所を持つエグゼクティブ・リクルーティングの会社であるが、海外の事務所からも、地震直後に早速、社員やお客さまに被害がおよばなか

夏休み直前の海の日、三連休は、台風による大雨に続き、新潟県中越沖地震で日本の経済の中核にまで被害

世界を驚愕させた、この大惨事に対する日本人の（もしくは日本のマスコミの）関心の低さを感じずにはいられなかった。

インターネットの世界で日本がにわかに注目を集め

奇異に感じたのは、こちらの航空機事故を報道する新聞記事が極端に少なかったことである。乗客名簿に日系人の名前があったことは大きく報道されていたが、世界中を驚愕させた、この大惨事に対する日本人の

のうちの2600万前後が日本語ブログであり、日本のネット人口は8000万人超と推定されるので、およそ3〜4人に1人はブログを書いている計算となる。

この、やや異常ともいえる日本人のブログ好きはど

同時期、ブラジルでも航空機事故で180人を超える人命が失われるという大惨事が起きた。ただ、私が

7月13日の日経産業新聞のコラムによると、世界中の7000万以上のブログのうち、最も多いのは日本語で書かれたブログで全体の37%になり、英語で書かれたブログの36%を抜き、世界のトップに躍り出たという。世界中のブログ

紹介者



加賀山 進氏
エヌ・ティ・ティ・データ・ジェットロニクス顧問

次回

森正勝氏
(アクセンチュア 取締役会長)

にご登場いただきます。

グローバルくブログ？

うしてなのか。ブログの内容は個人的な日記であり、覚え書き、グルメ情報などの趣味の情報。そして日本では匿名であることが多い。この「ブログ」が、日本発の革新的なネットビジネスに発展する可能性を秘めているのは事実である。

しかしながら私は、ブログに熱中する日本人の姿に、世界の動きへの無関心な日本人を重ね合わせてしまふ。国民の関心がグローバルな変化よりも、内向きなものに向いているような違和感を覚えるのは私だけであろうか。